

企画書 タイトル 「団塊世代」(テレビドラマ)

企画 岡田徹博
脚本 岡田徹博
種別 企業ドラマ+ホームドラマ
対象 団塊世代からファミリーまで
形式 単発五十五分一話完結

企画意図

少し怠け癖のある土方の岡風太郎おかふうたろうは定年退職後は毎日酒が飲める楽勝人生と思っていたが、島田社長の死後人生は一変。恩を返すため、文文ぶんぶんの派遣会社で一生懸命働くことになった。一流企業にすると言う目標を持って、従業員がお互い助け合い支えあつて、自立していく温かいドラマです。

今年は団塊世代の大量退職が社会問題になっています。団塊世代の退職後の人生は、人それぞれで、さまざまな生き方があると思います。一度限りの人生だから、悔いのない人生を送りたい、物語を通してチャレンジ精神と生きがいを求めて一生懸命働く姿を面白おかしく書いたドラマです。

シノプシス

タイトル「団塊世代」(テレビドラマ) 作 岡田徹博

地場大手高木建設の下請の島田工務店で働く土方の岡風太郎(五十七歳)は来年定年退職を迎える団塊世代。退職後は妻の岡文代ふみよ(五十歳)と若い頃から世話になっている島田工務店の社長・島田誠一とその妻文文ぶんぶんを連れ旅行に行く計画を立てていた。退職後は再就職して働く意志はなく、毎日酒を飲むことだけを楽しみにしていた。

妻の文代は退職後、四人で行く旅行を楽しみにしていたが夫の退職金が少ないため年金を貰うまでの間の生活のことを心配していた。

長女の岡文字（二十一歳）は高校卒業後、就職難だったためパートのアルバイトで二年間働いてきたが、最近デザイナーになりたいと言い出し、地元のデザイナー専門学校で勉強するか東京に行くかで悩んでいた。そんなある日。岡風太郎は番犬のココ（十歳）に今日は日曜で特別サービス。お前ひとり散歩に行つて来い、お前の好きな彼女の所に会いに行つてこいと散歩に出してやると喜んで出て行つた。

しばらくすると近所の主婦（四十一歳・旧姓高木梨江）が、うちの犬とココが喧嘩をして私の腕に噛みついた、病院代を弁償してくれと岡家にどなり込んで来た。すると文代はうちのココちゃんはお利口さんで喧嘩はしないし人を噛んだ事は一回もありませんと言つて一方的に追い返すと近所の主婦は「覚えとき」と言つて帰つていった。一ヶ月後のある日。岡風太郎は高木建設に応援に行つた。マンションの現場でスコップで泥を均している和高木権太社長（四十四歳）が急に怒り出し帰れ！帰れ！と言い出した。頭にきた風太郎は「帰れちゆうものが帰れ、お前が帰れ、おとなしくしとつたら調子にのり上がつてこの野郎！人の痛みの解らん駄目じゃーは帰れ！」と言つと社長は渋々その場から立ち去つた。

その後。高木建設の会長・高木権三（七十歳）から電話があり、明日からお前の所には仕事は出さんと言つてきた。島田社長が現場で何があつたか風太郎に聞くと、高木社長が返れ！と言つたからお前が返れ！と言つて、ぼろくそに言つたら社長が帰つたと言つと、物は考えで言えと叱られた。でもあの社長は駄目じゃー自分のことしか考えとらんから怒るんじゃーやつぱり団塊世代じゃないと人は付いてこん。今の世の中まだまだ団塊世代じゃと言つて、今度は調子に乗つて「団塊世代」ギャグを飛ばす風太郎。

「団塊世代。来年定年退職、第2の人生毎日酒をガブガブ頑張るぞー、前向き、皮むき、リンゴむき、筋力アップアップで腹筋、背筋鍛えます。それからビビビビビビ・・・ビフィズス菌も」というと島田社長が「馬鹿たれ」と言つて、突然その場に倒れた。意識不明のまま病院に運ばれた治療のかいもなく二ヶ月後に脑梗塞で亡くなつた。

一年後の二〇〇七年。文文は人材派遣会社「頑張ります軒」を設立。三年後の二〇一〇年には地場大手の人材派遣会社に成長。

ある日。高木建設の権三会長が亡くなり高木建設は倒産。元社長の高木権太はホームレス寸前で、働かせてくれと「頑張ります軒」の面接にやってきた。

半年後。高木権太が無断欠勤した日の早朝「頑張ります軒」に泥棒が入り一〇〇〇円盗まれ倒産の危機に・・・

その後、三人（文文、風太郎、為五郎）が貯金をはたいてお金を調達し、資金繰りを上手くやり再建をはたした。

三年後の二〇一〇年。三人が力を会わせた結果「頑張ります軒」は一流企業に成長。二〇一三年には、文文は昔芸者だった頃の政界、財界の人脈を生かし、高校球児の無名選手を育てメジャー球団に派遣する会社「メジャーランド」を設立しアメリカ進出を計る。現在鈴木二郎選手をパワーズ球団に派遣中。

二〇一五年には、世界最大のアカデミー賞授賞式のパーティーに芸者を派遣する計画を立てている。

二〇一六年には、岡風太郎を社長にすえ、アメリカで一流の土方を育て建設会社に派遣する「土方ランド」を設立する計画を立てている。

ある日。風太郎は島田社長の遺影に報告。これからは「頑張ります軒」と「土方ランド」が頑張りますけんというつと、文文が「頑張ります軒」と「土方ランド」で頑張らん人は首ですけんと言ったら、二人は大笑いした。

文文のあくなき挑戦はまだまだ続く・・・

（終わり）